

梅雨どきの「寄せ鍋」的コンサートのご案内

最初は、地域に住む「音楽好きなご家族」に出演していただくコンサートを考えたのです。応募がありませんでした。まだそういう文化はないんですね。それなら、、、音楽好きな仲間や、イベントでお会いした方に声をかけさせていただきました。たくさんの方に出ていただけることになりました。だったら、、、見る人聴く人だけじゃなく、出演者同志の交流もできると楽しいなと思って、「寄せ鍋」的なコンサートを考えました。具材も味付けも自由で楽しい。音楽のジャンルも様々ですし、ダンスや舞いのご出演もごさいます。あなたも「お箸とお茶碗」を持って、どうか気楽にお越しくださいませ。

とき 2018年6月30日(土)
午後1時半ごろ開演(1時開場)
たぶん4時～4時半ごろ終演

ところ 草津クレアホールの
「リハーサル室」です！
ホール南(駐車場側)の別棟

入場無料
先着100名ぐらい入れます

滋賀県草津市野路6丁目15-11
電話：077-564-5815

出演予定者

酒宮蔵蔵(さけのみやくらぞう)
Zs(ジーズ)
foods Family
SUGIO family duo
宇野ひと美 from 詩音
Saxophone ensemble from TWO
おふあぎ
アロハマナプアン
藤間流 勘孫奈
NOJI 八丁目
ほか
* 出演順は未定 *



「梅雨どきの『寄せ鍋的』コンサート」の開催趣旨について

草津市に「文化振興条例」ができました。この条例のキックオフにあわせて「文化振興フォーラム」が開かれました。そのとき、「社会包摂（インクルーシブ）」と「創造都市（クリエイティブシティ）」という2つのテーマを、文化や芸術の振興に取り込むことを提案していただきました。

社会包摂というと難しいですが、「文化や芸術は、みんなのもの」ということなんです。草津に住むさまざまな人が、気軽に楽しめる、気軽に参加できるような音楽の催しを、手作りしてみたいと思いました。

さまざまな人の中には、外国籍の方もおられますし、なんらかの生きにくさを持っている方もおられます。また、ここに引っ越してきて知り合いがほとんどいない方もおられます。小さな子どもを抱えた親御さんも、車いすの方、目や耳の不自由な方、高齢の方もおられます。そのような方も、音楽やさまざまなアートに親しみ、自らが表現者として活躍できる場面を作れば、今までとは違うアート（芸術）が生まれ、それがカルチャー（文化）として育っていくように思います。それは、とりもなおさず「創造都市」なのではないかと、思うのです。

それで、今回は出演者にも来場者にも「何かの発見」と「何かのつながり」を見出していただくことを期待しています。

主催の「ゆいま～る野路」は、まだ団体と言えるようなものではありません。小さな「思い付き」を「夢」に変え、それを育てて「いい世の中」に変えていこうと目論んで始めた小さなムーブメントです。「ゆいま～る」とは、沖縄の方言で「助け合う仲間」つまり「結い（ゆい）」のことだと教えてもらい、この言葉を活動名に採用させていただきました。

これからも「私の夢」や「あなたの夢」を形に変えていこうと思います。素敵なことがあれば、みんなで応援していけるといいですね。

それと、近江学園を創設した糸賀一雄さんの有名な言葉に「この子らを世の光に」というのと「気づいた人が責任者」というのがあります。

今、この2つの言葉は多くのところで語られています。同時に、具体的な取り組みに取り入れることの難しさも感じられていると思います。できることから、小さなことから、この言葉を形にしていきたいと、私は本気で思っています。

「いい世の中」で、「誰もが輝ける」ようにしていきたいですね。

そんな思いで、このコンサートを企画しました。出演していただく方々には心から感謝しています。ご来場いただける方にも心から感謝いたします。

平成30年6月
市民活動「ゆいま～る野路」 檀原弘行